

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年4月7日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	○		法令の基準以上の広さを確保し、机の位置を工夫してできる限りスペースを広く取り、密にならないように心掛けています。	環境整備を適宜行い、より良い支援ができるよう常に臨みます。 机の位置などで室内のレイアウトを工夫してまいります。	
	2	○		配置基準は満たしていると同時に、利用児童に合わせた職員を配置しております。	利用児童に合わせ指導員を手厚く配置していますが今後も適切な人員を確保し、配置をして目が行き届くよう配慮してまいります。	
	3		○	児童の特性に応じた環境設定に配慮しています。 現在車いすの利用者は居ませんが、段差等があるため、職員が付き添い見守りながら安全面に留意して支援をおこなっています。	事業所は戸建ての建物であるため完全なバリアフリーは難しいと思われませんが、今後も支援が必要な利用児童には職員が安全に留意しながら支援を行います。	
	4	○		活動に合った生活空間であるように配慮し、毎日清掃、消毒を欠かさず行っています。	今後も清潔を保ち、感染症予防の対策のためにも日々の消毒や換気を徹底してまいります。	
業務改善	5	○		毎朝の朝会などを活用し、児童の支援に限らず業務改善についても話し合いを持っています。	今後も会議を継続し、様々な意見交換を行う場として設けてまいります。	
	6	○		毎年アンケートをもとに、保護者様のご意向を把握し、職員で情報共有を行い、ご意向に沿って業務改善を行っています。	保護者様の貴重なご意見を真摯に受け止め、今後も改善に努めてまいります。	
	7	○		COMPASS 発達支援センターの公式 Web サイトで公開しています。	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行なってまいります。	
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。	
適切な支援の提供	9	○		各事業所グループ全体で研修を設けていますが、今年はコロナ禍のため研修は行えず、COMPASS 作成の動画研修を視聴し、職員の資質向上を図っています。	少しずつ外部研修（動画配信等）も開始されているため、積極的に参加して職員と情報共有し、さらなる資質の向上に努めてまいります。	
	10	○		利用開始前にアセスメントを行い、課題等を把握し、計画につなげています。 また定期的に個別面談を行い、児童の状況・保護者のニーズを把握するよう努めています。	今後も児童の状況や保護者様のご意向を考慮して適切に作成してまいります。	
	11	○		全事業所統一で作成したアセスメントシートを活用しています。	必要に応じてアセスメント項目の変更も検討いたします。	
	12	○		ガイドラインの各項目を盛り込み、具体的に支援内容を設定しています。 また、それぞれの支援内容に沿って具体的に支援内容を設定し、わかりやすく具体的な支援内容を設定しています。	今後もガイドラインを踏まえ、支援の状況が適切であるかどうかを勘案し、児童や保護者様と向き合っており、ご理解いただけるよう支援内容の設定に努めてまいります。	
	13	○		支援計画に沿って、一人ひとりの発達段階に合わせた個別療育や集団療育を行っております。	今後も児童の特性や発達に合わせた支援に努めてまいります。	
	14	○		全職員で案を出し合い、役割を決め、分担、協力して行っています。	職員の役割分担を考慮し、職員一同で支援できるよう努めてまいります。	
	15	○		個別の療育以外にも、集団での活動（ルールのある遊び等）など、児童の状況を見ながら、職員間で話し合い、行事活動や療育内容に趣向を凝らしています。	朝会などで話し合い活動プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。	
	16	○		児童の発達段階に合わせ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しています。 ご利用の都度評価し、次のステップにつなげられるよう職員で話し合っ作成しています。	児童の状況を把握し、無理のない個別及び集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成してまいります。	
	17	○		朝会にて職員配置や役割分担の打ち合わせを必ず実施し、共通の認識をもって支援にあたるよう、情報共有を行っています。	今後も打ち合わせ、支援内容や役割分担について等の確認や情報共有を行ってまいります。	
	18	○		児童が帰った後、その日の振り返りや、気づいた点などを報告し合い、情報共有を行っています。	今後も振り返りや気づいた点の情報共有を行い、より良い支援につなげられるよう努めてまいります。	
	19	○		本日の療育の内容や、気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等も経過記録に記録して、支援の検証と改善につなげています。	今後も、日々記録を行い支援の検証・改善につなげられるよう努めてまいります。	
	20	○		定期的に個別支援会議やモニタリングを実施し、保護者様のご要望と、児童の状況を把握して、支援計画の見直しを行っています。	今後も定期的なモニタリングと計画の見直しを行ってまいります。	
関係機関や保護者との連携	21	○		枚方市では、相談支援事業所が機能していないので児発管中心に事業所内で話し合っています。	相談支援事業所を介さずに保護者様が立てられたセルフプランで来られるため、児発管中心に事業所内で話し合い、情報共有しています。	
	22	○		各関係機関と連携を図り、情報共有しながら支援を行ってまいります。	子ども発達支援センター等、関係機関と連携を図り、情報を共有してより良い支援が行えるよう努めます。	
	23	○		現在特別な医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。	
	24	○		現在特別な医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。	
	25	○		必要に応じて幼稚園や保育所と情報共有を行い、より良い支援につなげられるよう努めてまいります。	今後も関係機関と連携を図り、情報共有と相互理解を図ってまいります。	
	26	○		必要に応じてその都度個別に対応し、保護者様と関係機関と情報共有を図れるよう努めます。	今後も関係機関連携会議の開催などを通じて、情報共有と相互理解を図ってまいります。	
	27	○		本年度はコロナの影響により、行政からの企画の案内がなく、外部研修の機会はありませんでした。	事態の収束後は研修等の機会を逃さず積極的に連携を強めてまいります。	
	28	○		コロナ禍のため現時点では実施できておりません。	コロナ収束後は活動機会を検討してまいります。	
	29	○		協議会の相談支援センターより働きかけがなく、コロナ禍でもあり機会がありません。	頻繁に事業所内で会議の機会を設け、情報共有・提案・討議を行っています。	
	30	○		送迎時等にご家庭での児童の様子を伺ったり、事業所での様子等を伝えたりするとともに達成できたことや、課題について情報共有を行っています。 また保護者様や児童に寄り添うことを心掛け、共通理解に努めています。	今後もあらゆる機会を活用し積極的に保護者様と情報交換を行い、共通理解に努めてまいります。	
	31	○		ペアレントトレーニングについては保護者様のお悩みや状況に配慮しながら、その都度適切なアドバイスができるよう努めています。	今後も保護者様のニーズに応えられるよう、寄り添った支援を心掛けてまいります。	
保護者への説明責任等	32	○		見学時、契約時に、丁寧に説明するように心掛けています。	今後も同様にわかりやすく丁寧な説明に努めてまいります。	
	33	○		児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画を作成し、保護者様に十分なご説明を行ったうえで同意を得ています。	今後もガイドラインに沿った、適切な支援計画を作成し、保護者様にわかりやすく説明できるように努めてまいります。	
	34	○		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	今後も保護者様に寄り添いながら適切な助言や支援が行えるよう努めてまいります。	
	35	○		本年度は感染拡大防止の観点より、父母の会の活動支援や保護者会などは控えていただいています。	コロナ収束後は保護者様のご意向を確認するとともに、保護者会等の企画の検討を再開するほか、感染拡大防止の観点から、オンラインでの交流等についても検討してまいります。	
	36	○		契約時にもご説明している苦情窓口が対応に努め、申し入れ等があった場合には、相談内容に応じて適任者が迅速な対応を行っています。	今後も迅速な対応を心掛け、早期解決に取り組んでまいります。	
	37	○		季節ごとに「COMPASS だより」を発行し、また公式 Web サイトでは、最新情報のほか、毎日事業所の活動内容がブログで紹介されています。	今後も情報発信を継続し、保護者様に児童の様子や活動を知っていただけるよう努めてまいります。	
	38	○		個人情報の取り扱いには慎重に行い、書類は施錠できる場所に保管しています。 また、児童の写真掲載等は、書面に保護者様の同意を得たうえで掲載しています。	今後も引き続き個人情報の取り扱いについては、細心の注意をはらってまいります。	
	39	○		児童や保護者様の特性等を把握した上で、口頭だけでなくあらゆる手段を使用して、意思の疎通や情報伝達を行っています。	今後も児童や保護者様の特性を配慮した上で、的確な情報伝達を心掛けてまいります。	
	40	○		現時点では、コロナ禍のため地域の方をご招待するなどの企画に至っておりません。	保護者様にとっては通所を秘匿された方もおられるため、ご意向に沿って十分な配慮のもと、ニーズを検討し、企画を提案してまいります。	
	非常時等の対応	41	○		各種マニュアルを策定し、見やすい場所に掲示を行っています。 感染症対応に関しては、流行時期に合わせて対応方法のシミュレーションを行ったり、防災訓練については、定期的に様々な状況想定した訓練を実施しています。	今後も継続し、同様に行ってまいります。
		42	○		定期的に、地震・火災等を想定した訓練を実施しています。	現在はコロナ禍であるため施設内のみでしか防災訓練を行っていませんが、今後、行政の協力を得ながら訓練を行ってまいります。
43		○		アセスメントやモニタリング等、必要な情報を詳細に把握し、全職員に通知しています。	今後も児童の健康に関する状況を把握し、安全に全職員してまいります。	
44		○		アレルギー調査票にて確認を行い、アレルギー児童のリストを作成したうえで全職員で情報共有し対応しています。	医師の指示書を書くような重大なアレルギーの児童は在籍はありませんが、今後も保護者様や職員と情報共有し、アレルギーをおこさないように細心の注意で対応してまいります。	
45		○		ヒヤリハット報告書の作成、保管を行い、職員で話し合う場を設定し、再発防止に努めています。	引き続き記録、話し合いを行い、再発防止に努めてまいります。	
46		○		児童発達支援管理責任者や管理者が研修に参加し、職員に情報共有を行っています。 また職員研修を行い、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。	今後も継続的な研修によって、虐待についても知識を高め、決して起こさないよう全職員で意識を高め、認識一致を図ってまいります。	
47		○		現在、身体拘束が必要な児童の受け入れはありませんが、利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は保護者の同意を得ることとしています。	今後、身体拘束の可能性のある児童の受け入れについては体制を整え、十分な事前説明と、保護者の同意を得て、支援計画に記載するように努めてまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。